

「シルバー農園便り」-第4号(2023.4)

=ご家庭で失敗の少ないミニトマトの育て方=

今回はシルバー農園ファームリーダーの助言の下、ご家庭で育てる夏の定番、ミニトマトの栽培方法をご紹介します。

ミニトマトは、真夏の8月になると暑さのため生育が悪くなるので、7月中の収穫を目指します。苗の植え付けは、4月下旬～5月初旬（気温が20℃超の頃）の晴れた日に行います。

ホームセンターや園芸店で、売れ筋の苗を購入してください。リーダーのお勧めは適度に甘く育てやすい、ラグビーボール形の「アイコ」という品種です。花芽のついた高さ20cm位の、茎が太く葉が元気なものを選んで購入してください。そしてしばらく購入したポットのままにしておきます。植付けは深さ、横幅共25～30cmの鉢に行います。プランターは浅いので、上の写真のような深さのある鉢が良いです。鉢の中に培養土（元肥入り）か培養土に牛糞たい肥を混ぜたものを入れます。



花芽から最初の花（一番花）が咲いたら鉢に植替えます。一番花が咲いてから鉢に植替えると、失敗が少なく栽培できます。またマンションのベランダ等で、日当たりや照り返しが強いは場合は、二重鉢の二重構造にし、真夏の日差しで内側の鉢が熱くならないようにします。ミニトマトの根は暑さに弱いので、この方法で保護し温度管理ができます。

鉢の真ん中に、一番花の咲いた苗を植え付け、1.2～1.5メートル程の支柱を立てます。（周りに3本立てしても良いです）。鉢1つに苗1つが基本です。これで準備完了です。

日に当たることで生育が早まり甘くなりますが、雨には弱いので、雨の日はビニル等で雨除けをして上げて下さい。

水やりは表面の土が乾いたらあげるようにし、1回にしっかりと土にかけます。毎日行う必要はありません。苗が伸びてきたら支柱にゆるく結び、余分なわき芽は小さいうちに指で摘み取ります。これを“芽かき”といいます。わき芽とは葉や茎の付け根から出る芽のことで、そのまま放置すると、全てのわき芽が伸びて実がついてしまい、収穫は多くなりますが、栄養が行き渡らなくなってしまうので美味しくなりません。

花が咲くほど実が多くつきます。実がつき始めたら、2週間に1度位、追肥（化成肥料か、液体肥料）を行います。収穫のタイミングは、完熟して実が真っ赤になってからです。美味しいミニトマトを収穫し、食卓の一品に加えてください。

栽培に関し何か聞きたいことがあれば、月、水、金の平日晴れた日の午前中にシルバー農園にご来園下さい。雨の日の農園作業はありません。

◇以上は一例としてのご紹介です。

総務委員会 シルバー農園分科会編集・発行